

4月4日のPCR検査における事務処理ミスの詳細について

環境総合センター

【検査の流れについて】

①検体受付

保健所職員が環境総合センターに検体を持ち込み検体に事例番号（一人に一つの番号）及び検体番号を付与(※)  
 ※採取マニュアルで一人につき鼻腔ぬぐい、喀痰等2検体を採取することとなっている。

②検体前処理

ウイルスを溶解し、遺伝子を取り出す。異物等を遠心分離器等を用い除去後、目的のRNAを抽出

③リアルタイムPCR検査

リアルタイムPCRに検体を入れ、制御用パソコンに検体番号を入力→測定開始  
 測定終了後、陽性反応のあった検体番号を確認し検査結果とする。

【今回の事例について】

①検体受付

4月4日済生会事例を含む検体を受付し、表1の事例番号と検体番号を付与

表1 検体受付時の事例番号等

事例番号	検体番号	
794	176 (鼻腔ぬぐい)	新規検体
795	177 (鼻腔ぬぐい)	新規検体
796	178 (鼻腔ぬぐい)	事例13 (市内陽性2例目)
	179 (喀痰)	退院陰性確認検査
797	180 (鼻腔ぬぐい)	事例268 (市内陽性5例目)
	181 (喀痰)	退院陰性確認検査
798	182 (咽頭ぬぐい)	済生会病院 女性患者
	183 (気管吸引液)	

②検体処理

当該リアルタイムPCR用として22人分 (29検体) の検体を処理

③リアルタイムPCR測定

制御用パソコンに検体番号を入力 (この際に177番を欠落して入力)

間違いに気づかず検査終了し、制御用パソコンには表2の測定結果が表示される

この結果を受け表1と照らし合わせ、事例番号797及び事例番号798が陽性と間違えて判断

表2 リアルタイムPCRの制御用パソコンに表示された測定結果

誤	検体番号	判定
	176	陰性
	177	177番が欠落
	178	陰性
	179	陰性
	180	陽性(本来の179番)
	181	陰性
	182	陽性(本来の181番)
	183	陰性
	184	陰性

正しくは下表のように制御用パソコンに入力すべきであり、  
 事例番号796及び事例番号797が陽性であった。

正	検体番号	判定
	176	陰性
	177	陰性
	178	陰性
	179	陽性
	180	陰性
	181	陽性
	182	陰性

問い合わせ先  
熊本市環境総合センター  
所長 近藤 芳樹  
電話番号 096-379-2511